

# 日本地域福祉学会

No.69 2013.04.01

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://jracd.jp/> E-mail [chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp](mailto:chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp)

発行人：牧里 每治 編集人：小松 理佐子

## CONTENTS

第27回大会の開催にあたって	1
ACOSA との交流について	2
ACOSA 理事会報告	4
韓国地域社会福祉学会報告	4
近畿地域福祉学会報告	5
別れの辞	6
東日本大震災復興活動支援募金のお礼	7
新入会員紹介	8
Information	8

## 日本地域福祉学会第27回大会の開催にあたって

第27回大会実行委員会委員長 根本 嘉 昭 (桃山学院大学)



日本地域福祉学会会員の皆様、本年6月8日―9日、第27回大会が大阪の堺市と桃山学院大学を会場に開催されます。学会大会が大阪で開催されるのは、第3回の1989年以来24年ぶりのこととなります。私たち開催地元関係者はこれを大変名誉なことと認識し、大阪そして近畿の学会関係者で実行委員会を組織して、良い大会となるように準備を進め、多くの会員の皆様方をお迎えしたいと思っています。

大阪・近畿ブロックの地域福祉の関係者はそれぞれの地域福祉を誇りとしています。この地域では社会福祉や地域福祉の原点ともいえるべき理論や概念を、実践の中で理論的にも発展させ、またそれを実践に移すというプロセスを経ながら今日に至っているのです。大阪府下全小学校区における地域福祉活動組織の存在、福祉施設による社会貢献事業を含めた多様な地域福祉活動、市町村におけるコミュニティソーシャルワーカーの配備などは、その成果の一例です。

一方、今の日本の諸制度、諸分野と同様に、地域福祉とその背景となるものは大きく揺れていると思います。今回の大会テーマになっているグローバリズムもその背景の一つでしょう。とくに一昨年の「3.11」は私たちの価値観、地域コミュニティのあり方や福祉の価値意識を大きく変えましたが、それにもかかわらず、いまだにそのことの総括ができていないのではないかという思いが強くあります。

地域福祉に関して伝統的にも開拓的にも理論と実践の融合・進化を自負している大阪・近畿を会場として、グローバリズムとローカリズムの「相克」を地域福祉の立場から「接合」という今次大会のテーマの下、「地域福祉の新たな潮流」について、理論的にも実践的にも大いに深めていただければ、これに勝るものはありません。

会場となる堺市と私たち桃山学院大学のある和泉市は、同じ大阪とはいっても、「堺・泉州地域」という大阪南部特有の文化を持っているところです。仁徳天皇陵、千利休、だんじりなど、豊かな歴史と自然にはぐくまれ、観光も、人情も、食べ物も、滋味にあふれています。この面でも、ぜひ楽しみに、期待してお出かけください。